

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

とよとみ
ヘルスツーリズムタウン**豊富**

豊富な地域資源を活用した
ヘルスツーリズム応援宣言

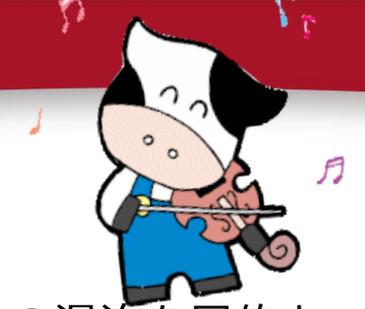
北海道豊富町
が応援するふるさと名物

- ◎ 豊富温泉
- ◎ サロベツ原野
- ◎ 牛乳
- ◎ ホッキガイ
- ◎ エゾシカ



豊富町のゆるキャラ
とよとみ君

ふるさと名物 - ヘルスツーリズムタウン豊富 -



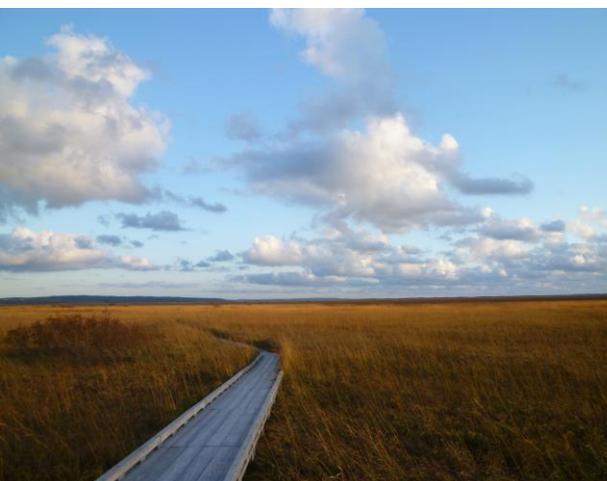
人は誰しもが、健康で幸せに暮らしたいと願っています。

豊富町では近年、特にアトピー等の皮膚疾患を持つ多くの方が、豊富温泉での湯治を目的として来られるようになり、移住につながるケースも増えてきています。これは、旅をきっかけに健康増進・回復・疾病予防に寄与する「ヘルスツーリズム」のまさに実例です。健康志向が高まる現代、ヘルスツーリズムはますます必要とされてきています。

町としてもこの機運を活かし、温泉以外にも豊富にある地域資源を活かして、リフレッシュや自然体験、酪農体験、スローフード、花粉リトリートなども目的としたヘルスツーリズムを推進しています。

ヘルスツーリズムは参加する方の健康に寄与するだけではありません。受け入れる地域でも、その地域資源の再評価や地域活性化、相乗効果による住民の健康増進等が期待されます。

そして、豊富町に来られる方も町民も皆が、健やかで幸せな暮らしを楽しむまち、「ヘルスツーリズムタウン豊富」を作り続けていきたいと願っています。





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

北海道豊富町

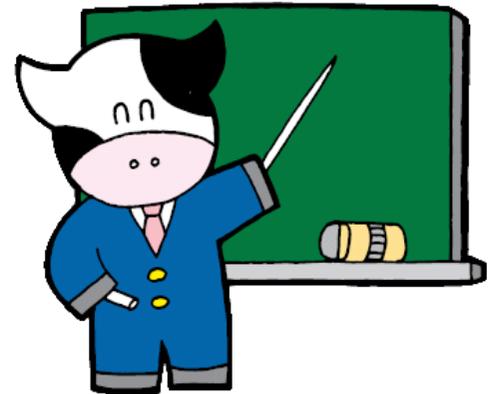


豊富町は、北海道稚内市の南に位置し、西は日本海に面しています。

町名は、「魚（食べ物）が豊富な川」という意味のアイヌ語の「エベコロベツ」と言う町内の地名に由来します。そこから転じて、石炭、石油、天然ガス、温泉、泥炭等天然資源に恵まれた土地であったことから「豊富（ほうふ→とよとみ）」となりました。

豊富町は人口約4千人に対し、乳牛が約1万4千頭飼育されている、酪農が基幹産業のまちです。北海道でも最北に位置する豊富町の冷涼な気候と広大な牧草地の中で、のびのびと健康的に育てられています。

また、近年は、その希少な泉質から湯治場として注目を集めている豊富温泉や、「利尻礼文サロベツ国立公園」の一部でありラムサール条約登録湿地でもある「サロベツ原野」などの観光資源にも恵まれています。



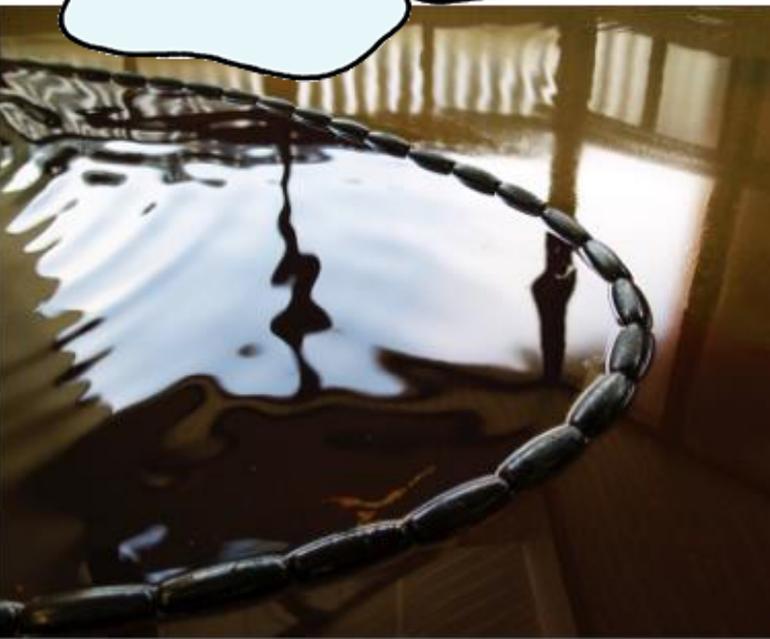
ふるさと名物の内容 - 主な地域資源 -



豊富温泉

世界的にも希少な高い効能を持つ泉質の湯治湯

湯船に油膜が張り、少し独特な石油臭がする豊富温泉は、美肌・消毒・炎症鎮静効果のある各種成分を絶妙に含んだナトリウム塩化物泉系モールの泉質で、特に皮膚疾患に効能があると近年では遠く海外からも湯治客が来られています。また、その源泉から作られた石鹸やクリームがアトピー等に悩まれている方々に好評を博しています。温泉井戸からは良質な天然ガスも生産され、地域エネルギーとして温泉街を中心に活用されています。環境省の国民保養温泉地に指定されている他、温泉療法医が選ぶ「日本の名湯100選」にも選ばれています。



ふるさと名物の内容 - 主な地域資源 -



国際的に貴重な渡り鳥の中継地でもある日本最大の高層湿原

利尻礼文サロベツ国立公園の一部であり、低地に広がる日本最大の高層湿原です。国際的に重要な渡り鳥の中継地として、ラムサール条約登録湿地にも選ばれています。花の季節には様々な自然の花を楽しむことができます。

多くの観光客の方が訪れている他、豊富温泉に湯治で来られている方も訪問され、健康増進も目的とした自然散策を楽しまれています。



ふるさと名物の内容 - 主な地域資源 -



冷涼な気候と広大な牧草地を活かした放牧主体の酪農

乳牛に適した冷涼な気候と、広大な牧草地を活かし、牧草主体で放牧させて育てた健康な乳牛から生産される牛乳。それを原料に使用したチーズやアイス等の加工品も人気です。総面積1500haの町営「大規模草地牧場」では、広大な景色の中のんびりと草を食む牛を眺める事ができます。

牛乳工場の見学や、チーズやアイス作り体験も人気です。



ふるさと名物の内容 - 主な地域資源 -



ホッキ
ガイ



稚咲内漁港で水揚げされる最高品質のホッキ貝

日本海の冷たい荒波の中で育つホッキ貝は希少で小ぶりですが、身は引き締まり柔らかな食感の最高級品です。アラニンというアミノ酸がしっかり含まれていて、これは糖度を下げるインスリンの分泌を促してくれます。それが脂肪分解酵素を活性化させるので、ダイエットに最適！またアルコールの代謝も促進し、肝機能を保護してくれるので、お酒を飲む方にも最適です。

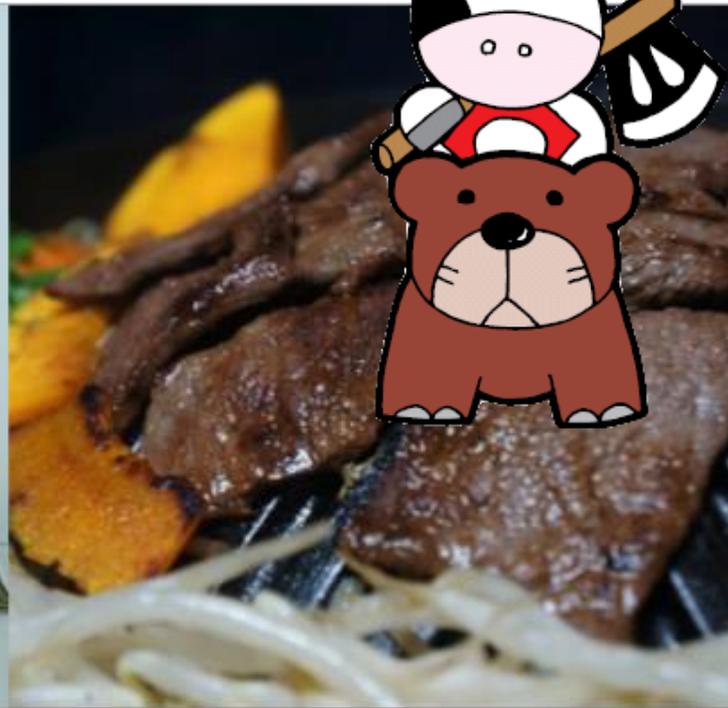
町内の稚咲内（わかさかない）漁港で水揚げされています。





ヘルシーかつ環境保全にもつながるエゾシカ肉の活用

日本海の潮風を受けたミネラル豊富な牧草や木の実を食べて育った野生のエゾシカの肉。エゾシカ肉は、脂質が少なく鉄分やたんぱく質が多いヘルシーな食材です。また、エゾシカ肉を美味しく食する事は、増えすぎた野生の鹿による農作物や貴重な植物等への被害を減らし、地域の自然と人々の暮らしを守る事につながります。豊富町には、日本最北の鹿肉加工場があり、新鮮な高品質の鹿肉商品が製造されています。



豊富町の主な取り組み - 豊富温泉 -



湯治の方を町ぐるみでサポート

町営の日帰り入浴施設「ふれあいセンター」に、保健師や温泉コンシェルジュを配置し、気軽に相談ができる体制を整えています。また、民間組織として湯治により移住した方々を中心にした「豊富温泉もりあげ隊」が温泉地区において活躍している他、湯治客専用の宿泊施設を2015年4月にリニューアル開設しました。「豊富町商工業活性化条例」により、移住者の起業等に対する補助制度も創設しました。



「温泉力地域協力協定」を締結

特徴ある温泉を有する秋田県仙北市、大分県竹田市との間で2015年7月に「温泉力地域協力協定」を締結。協力しあうことで、温泉を活用したさらなる健康増進に寄与し、観光振興を目指しています。



「日本の名湯百選」に選定

2015年11月、NPO法人健康と温泉フォーラムが、「温泉療法医がすすめる健康と保養の温泉地」として選定する「日本の名湯百選」に選ばれました。

豊富町の主な取り組み - サロベツ原野 -



サロベツ湿原センターの管理運営

利尻礼文サロベツ国立公園サロベツ地域の玄関口として、2011年4月にオープンしたサロベツ湿原センターの管理運営を、環境省やNPOと協力して行っています。



サロベツ自然再生事業の推進

サロベツ原野では、周辺の土地利用の変化に伴い、地下水位が低下し乾燥化が進んでいるため、湿原と農業の共生を目指すサロベツ自然再生事業や、サロベツの自然や文化を楽しむ活動を通して湿原と農業が共生する地域づくりを進めるサロベツ・エコモー・プロジェクトを、環境省、地域住民、NPO、専門家等と協力して推進しています。



豊富町の主な取り組み - 牛乳 -

町内産の牛乳を使用した加工品の販売振興

町内産の牛乳を原材料に使用したプリンやアイスクリームなどの特産品が、少しずつ増えてきています。町としてもそれを後押しすべく、ふるさと納税の返礼品としてカタログに載せて全国に発送しています。



「大規模草地牧場」の運営

全国有数の規模を誇る「大規模草地牧場」を運営し、乳牛の健康な育成に寄与すると共に、外国を思わせる広大な大草原故に多くの映画やテレビロケ地となった牧場景観を観光客の方に楽しんで頂いております。





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

町長からのメッセージ



「豊富温泉は日本にも、おそらく世界にも類のない温泉！」

大正15年に天然ガスとともに噴き出した豊富温泉は今年開湯90周年を迎えました。石油分が混じった温泉はアトピーや乾癬等の皮膚病に効能が高く、全国から多くの方が身体と心の湯治療養に訪れます。国立公園指定のサロベツ原野、雄大な草原から生み出される牛乳など、私たちの財産と言える地域資源の魅力を発信し、後世に伝えるため、豊富町では豊富温泉湯治療養におけるヘルスツーリズムタウンの推進を中心とした地域資源を活用した取り組みを、「ふるさと名物」として応援することを宣言いたします。

豊富町長 工藤 栄光